



# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2021年8月29日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部



迫る

## 谷垣禎一さんとパラリンピック

29日(日)＝1、3面

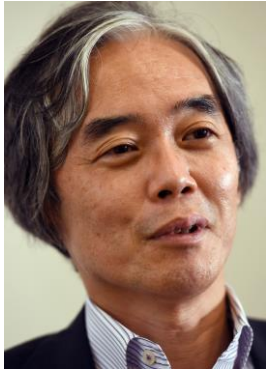
元衆院議員の谷垣禎一さん＝写真＝は2016年7月、サイクリング中に転倒してしまい首にある頸髄（けいずい）を損傷する重傷を負いました。このけがで政界を引退し、車いすが欠かせない生活を送ってい

ます。リハビリを続ける日々の中、東京2020パラリンピックの観戦を楽しみにしています。選手たちの活躍は、谷垣さんの目にどのように映るのでしょうか。

特集 **ワイド**

## 「官邸主導型」政治の根詰まり

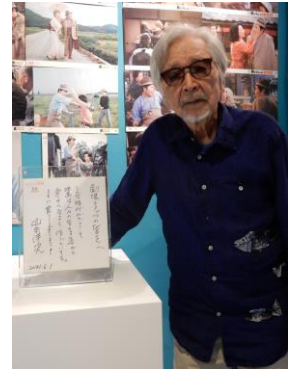
31日(火)＝夕刊特集ワイド



菅義偉政権の新型コロナウイルス対策が、どうも振るいません。コロナの感染者が全国で爆発的に増える中、なかなか有効的な手立てが打てずに苦しんでいます。一体、どうしてなのでしょう。東

京大学先端科学技術研究センター教授の牧原出さん＝写真＝は「第二次安倍政権から続く『官邸主導』型の政治が、根詰まりを起こしている」と指摘しています。その意味するところは何でしょうか。

そこが聞きたい



## コロナ禍の撮影 山田洋次さん の胸中は

新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）が続くなか、日本の代表的な映画監督の1人、山田洋次さん（89）＝写真＝の新作「キネマの神様」が公開されています。新しいウイルスによる仕

事、生活の変化は、映画の製作や公開にどのような影響を与え、山田監督はどう受け止めてきたのでしょうか。「リモートで面白い映画は生まれにくい」と語る山田監督に、胸中を聞きまし

31日(火)＝オピニオン面

## 池袋暴走死亡事故の判決

9月3日(金)＝社会面

東京・池袋で2019年4月、松永真菜さん（当時31歳）と長女莉子ちゃん（同3歳）が乗用車にはねられ死亡した事故で、東京地裁が9月2日、自動車運転処罰法違反（過失致死傷）に問われた飯塚幸三被告（90）に判決

を言い渡します。無罪を主張する被告に対し、検察側は「反省の情がない」として法定刑の上限にあたる禁錮7年を求刑しています。どういった判決が下されるのか、遺族の思いとともに詳しく報じます。



慰霊碑に向かって手を合わせる遺族＝東京都豊島区で今年4月

新毎日

150  
2022年2月21日  
毎日新聞創刊150年

47都道府県を順番に取り上げる日曜朝刊の「わたしのふるさと」は7月の開始以来、私には「秘密のグルメ」が目がくぎ付け。山口県の「瓦そば」や石川県の「ハントラライ」……名前からしておいしそう！知らない品プレゼントも知らなくも心に決めました。早く「コロナが収まったらい食べに行こう」。おいしーい夢と一緒に。お日曜の理解も広がるので、楽しくなりました。（斎藤広子）

